

## 6. 紀要「人文研究」索引

現在毎年1冊ずつ刊行されている大阪市立大学文学部紀要「人文研究」地理学特輯号は1966年度以前においては、大阪市立大学文学会発行の文学会誌であった。また、地理学特輯号の刊行は1952年の第3巻4号が最初であり、それ以前は専攻教室の別なく各分冊が編集されていた。

以下の索引は地理学教室所属の教員の執筆になる論文の標題を年次をおってあげたものである。

## 第1巻 第12号 (1950年12月)

所謂環濠集落について—大和平野を中心に見たる— 村松繁樹

## 第3巻 第4号 (1952年4月)

歴史の古い農村の諸相—大和二階堂村—  
二階堂村の概観 村松繁樹  
二階堂村における水的一面 君塚 進  
明治以降の小農化の傾向はいかにして起ったか 川喜田二郎  
土地所有と身分関係 木村 宏  
家族と村落構成の変化過程 岩田慶治

## 第4巻 第3号(2) (1953年3月)

砺波平野の散村三論 村松繁樹  
三圃農法の変容過程 水津 一朗  
土地所有形態より見たるフィリピン群島の地域性 木村 宏  
幾つかの日本の古地図について 君塚 進  
人口可容論の位置づけ 川喜田二郎  
カール・リッターの方法 岩田慶治

## 第5巻 第2号 (1952年2月)

摂津国猪名庄古絵図に就いて—歴史地理学的二、三の考察— 渡辺久雄  
アレクサンダー・フォン・フンボルト序説—アメリカ旅行の意義— 岩田慶治  
地域における階層性と異質性—ライン=マイン地域の生成について— 水津一朗  
地域構造の比較地理学的研究—ルソン島とミンダナオ島— 木村 宏  
散村地域における宅地・耕地と道路 村松繁樹

## 第5巻 第9号 (1954年9月)

鷹栖村の地理的性格 村松繁樹  
用水 君塚 進  
土地占居からみた散居の機能 水津一朗  
村落構成と土地所有形態 木村 宏  
農業経営に関する二、三の問題 渡辺久雄

家族人口の変化過程  
家からみた散村の性格

川喜田二郎  
岩田慶治

第6巻 第12号 (1955年12月)

《コスモス背景》

ネパール=ヒマラヤ—その文化の地理学—

ルソン島とミンダナオ島比較研究(二)

耕区制と三圃制

地域に関する研究ノート—富山県に於ける市町村合併を一例として—

崎志摩の漁村

岩田慶治  
川喜田二郎  
木村 宏  
水津一朗  
渡辺久雄  
村松繁樹

第7巻 第9号 (1956年10月)

摂津国河辺郡の歴史地理学的考察(2)—自然景観と文化景観—

砺波文化の地域的秩序—ひとつの仮説的試み—

基礎地域とその人口規模

文化の地理学・もしくは文化の生態学—チベット文化の場合—

ルソン島カガヤン平野とミンダナオ島アグサン平野—フィリピン群島比較研究(3)—

本邦における風と集落との関係について

渡辺久雄  
岩田慶治  
水津一朗  
川喜田二郎  
木村 宏  
村松繁樹

第8巻 第10号 (1957年11月)

東亜の文化生態学についての方法的反省

麻逸と蘇祿の境域について—東南アジア東部島嶼地域の歴史地理学的研究—

小字の歴史地理学的研究—基礎地域の構成要素としての小字—

学校社会と行政地域—富山県下未合併村を中心とした考察—

日本村落の特質

川喜田二郎  
木村 宏  
水津一朗  
渡辺久雄  
村松繁樹

第9巻 第8号 (1958年9月)

恒藤先生退官記念

摂津国河辺郡の条里に就いて—特に猪名村を中心としての考察—

渡辺久雄

第10巻 第2号 (1959年2月)

摂津国武庫郡の歴史地理学的考察—武庫郡条里を中心として—

沙華公国の位置と麻奴族の分布—東南アジア東部島嶼地域の歴史地理学的研究II—

文化構造の生態学試論—《ゲーム》の視点より—

大教区の形成とその地理学的意義について—ドイツにおける三、四の事例を中心として—

渡辺久雄  
木村 宏  
岩田慶治  
水津一朗

第11巻 第2号 (1960年2月)

漁港集積の経済空間的秩序

美濃国抄紙考—その立地の歴史地理—

ポロヴェン高原の人文地理—開拓と民族—

手取川扇状地の村落居住形態—特に砺波平野との比較—

藪内芳彦  
渡辺久雄  
岩田慶治  
村松繁樹

## 第12巻 第1号 (1961年1月)

合・里の位置と境域について—東南アジア東部高嶺地域の歴史地理学的研究—  
 漁業協同組合自営遠洋漁業の経済地理学的考察  
 歴史地理学と Geochronology  
 人文地理学におけるドイツ学派とフランス学派

木村 宏  
 藪内芳彦  
 渡辺久雄  
 村松繁樹

## 第13巻 第1号 (1962年1月)

ポリネシア民族ならびに文化の起源に関する覚書  
 古代阡陌開発に関する一考察  
 中小企業集団化に立地的視点  
 第二四回国際住宅・都市計画学会

藪内芳彦  
 渡辺久雄  
 春日茂男  
 村松繁樹

## 第13巻 第11号 (1962年12月)

中世庄園に関する地理学的一考察  
 世界漁業文化圏設定試論  
 東南アジアにおける居住様式の地理学  
 小都市の工業立地と市税収入  
 地域・都市および家庭の人

渡辺久雄  
 藪内芳彦  
 岩田慶治  
 春日茂男  
 村松繁樹

## 第14巻 第10号 (1963年11月)

律令時代における地図作成について  
 マグロ遠洋漁業の漁業協同組合自営の成立類型  
 工業的土地利用の生産性について  
 東南アジアの市場とその商品  
 いわゆるニュータウンについて—阪神都市圏計画の一環として見たる—

渡辺久雄  
 藪内芳彦  
 春日茂男  
 岩田慶治  
 村松繁樹

## 第15巻 第9号 (1964年10月)

尺度の起源に関する若干の考察—生活空間の把握と表現—  
 中央的場の理論—経済地理学的方法論によせて—  
 工業集積の理論と実態  
 ソビエトの大経済地域について

渡辺久雄  
 藪内芳彦  
 春日茂男  
 中村泰三

## 第16巻 第8号 (1965年9月)

〔注〕この巻号より本文横書きとなる。

タイ系諸族における家族、親族および親族名称—東南アジア調査資料拾遺(一)—  
 立地と土地利用—HaigとAlonsoの所説—  
 ソビエトの工業ウーゼルについての若干の考察  
 イギリスの都市開発

岩田慶治  
 春日茂男  
 中村泰三  
 村松繁樹

## 第17巻 第7号 (1966年8月)

北日本におけるマグロ遠洋漁業経営の性格  
 ソ連邦の経済地域の複合的發展について

藪内芳彦  
 中村泰三

- 爆発する大都市圏  
《資料》1950～60年のポーランドの人口移動
- 村松繁樹  
中村泰三
- 第19巻 第3分冊 (1967年11月)  
〔注〕この年度より大阪市立大学文学部発行の紀要となる。
- 条里制に基づく地名の考察  
立地競争と土地利用適合  
第二次大戦後のポーランド工業の地理的配置について
- 渡辺久雄  
春日茂男  
中村泰三
- 第20巻 第6分冊 (1968年12月)  
ロンドンのGreen Square  
ワルター・マース教授の社会地理学思想  
ブルワン村—ードン・レーク山脈北部におけるクメール族村落の今日と明日—
- 村松繁樹  
藪内芳彦  
岩田慶治
- 第21巻 第8分冊 (1970年10月)  
村松繁樹教授退任記念  
村松繁樹教授略歴・村松繁樹教授著作目録  
伯耆国における庄園村落について  
オプスト地理学における宗教と経済精神の役割  
西シベリアの工業開発  
カンパーランドとランカシャー—第一次大戦後の衰退—  
《資料》ブルガリアの経済発展
- 渡辺久雄  
藪内芳彦  
中村泰三  
春日茂男  
中村泰三
- 第22巻 第7分冊 (1971年3月)  
低海岸の集落立地資料  
阪神地域における下請企業の分布  
ソビエト極東地域の現況についての若干の考察  
数学モデルを用いた傾斜発達問題へのアプローチ
- 渡辺久雄  
春日茂男  
中村泰三  
平野昌繁
- 第23巻 第8分冊 (1972年7月)  
「社会地理学論争」と人文地理学  
淀川右岸地域の条里と水無瀬庄  
谷壁斜面の勾配変化にみられる規則性とその起源に関する一考察
- 藪内芳彦  
服部昌之  
平野昌繁
- 第24巻 第11分冊 (1972年11月)  
ユーゴスラビアの都市(上)  
阪神地域における下請企業の分布(その2)  
ソ連邦の巨大都市、都市集中地域について
- 小林 博  
春日茂男  
中村泰三
- 第25巻 第12分冊 (1973年12月)  
条里地割の分布からみた古代播磨の地方行政領域  
加古川中流部の明美面を切る山崎断層の延長部における水平変位速度の推定
- 服部昌之  
平野昌繁

- 阪神地域における下請企業の分布（その3）  
春日茂男
- 第26巻 第8分冊（1974年11月）  
オセアニアの漁撈文化  
ユーゴスラビアの都市（中）  
ソ連邦の鉄鋼業配置の動向  
藪内芳彦  
小林 博  
中村泰三
- 第27巻 第1分冊（1975年10月）  
藪内芳彦教授退任記念  
藪内芳彦教授略歴・藪内芳彦教授著作目録  
Theodor Krausの経済地理学論  
春日茂男  
埋没条里地割研究ノート  
服部昌之  
ユーゴスラビアの都市（下）  
小林 博
- 第28巻 第2分冊（1976年10月）  
電子計算機によるブロックダイアグラムの作成  
平野昌繁  
ソ連邦の地域概念と地域区分の原則—革命直後の時期を中心として—  
中村泰三  
丹波山地における村落の空間形態とその内部構造  
山野正彦  
ソ連・東欧の野外博物館  
中村泰三
- 第29巻 第6分冊（1977年11月）  
分類体系としてみた村落の空間構造—丹波・吉備高原地域を事例として—  
山野正彦  
古代における丹波国水上部の空間構成  
服部昌之  
農業立地と集約度—チウネン理論の検討—  
春日茂男
- 第30巻 第7分冊（1978年12月）  
表面経路決定のための変分原理の地理学的应用  
平野昌繁  
トロントの都心部  
小林 博
- 第31巻 第10分冊（1980年3月）  
立地の地域的均衡—非モザイク空間理論  
春日茂男  
人文地理学と社会形態学—Ratzel-Durkheim 論争についての覚書  
山野正彦  
ユーゴスラビアの地理学界の現況  
中村泰三
- 第32巻 第7分冊（1981年2月）  
ユーゴスラビア、ブルガリアの国際ツーリズム  
中村泰三  
欧米における歴史地理学研究の動向  
服部昌之  
ブルガリアの地理学界寸指  
中村泰三
- 第33巻 第4分冊（1981年12月）  
変分原理にもとづく氷河谷のU字断面の一説明  
平野昌繁  
中国山地地域における名の景観  
山野正彦

## 第34巻 第6分冊 (1982年12月)

ソビエト経済地理学の誕生

中村泰三

Land と Landschaft —近代地理学における一争点—

春日茂男

1970年代のソビエト西部の都市と工業の発展 (短報)

中村泰三

## 第35巻 第10分冊 (1983年12月)

小林 博教授退任記念号

小林 博教授略歴・小林 博教授著作目録

観相学的視角について

山野正彦

大阪平野の条里制 —石川河岸段丘と河内低地—

服部昌之

## 第36巻 第2分冊 (1984年12月)

シュベートマン『動的地誌』の発想

春日茂男

運搬則と連続条件にもとづく地形方程式の厳密解

平野昌繁

## 第37巻 第1分冊 (1985年12月)

春日茂男教授退任記念号

春日茂男教授略歴・著作目録

ソビエト中央アジアウズベク共和国の労働問題

中村泰三

空間的相互作用のモデリングをめぐる最近の研究動向

石川義孝

ナホトカ瞥見 (資料)

中村泰三

## 第38巻 第7分冊 (1986年12月)

ドイツ連邦共和国における最近の公共近距離旅客交通 (OPNV) の動向 —大都市圏を中心として— 大場茂明  
「条里の図的表現」補説 服部昌之

## 第39巻 第4分冊 (1987年12月)

空中写真でみる地形災害 —歴史的大災害 (其の2) —

平野昌繁

人文主義地理学関係文献目録 (1961—1986)

山野正彦

## 第40巻 第1分冊 (1988年12月)

ソ連の諸地域に及ぼすベレストロイカの影響

中村泰三

二段階的地選択過程の検証の試み

石川義孝

## 第41巻 第8分冊 (1989年12月)

ラインニールコナベーション地域における構造変化

大場茂明

資料: 難波古図目録

服部昌之

## 第42巻 第8分冊 (1990年12月)

Simulation of Gully Development on Three-Dimensional Model Slope

Masashige Hirano

レヴィ=ブリュールの『融即』に関するノート —景観の参与的理解のために— 山野正彦

- 第43巻 第9分冊 (1991年12月)  
 ソ連における主要民族の人口動態 中村泰三  
 わが国における産業構造の転換と人口移動パターンの変化 石川義孝  
 短報：ソ連極東の研究所について 中村泰三
- 第44巻 第9分冊 (1992年12月)  
 近代ドイツにおける都市計画概念の発展とその都市形成への影響 大場茂明  
 参与観察と『融即』的思考 一景観の参与的理解のために(2)一 山野正彦
- 第45巻 第6分冊 (1993年12月)  
 服部昌之教授退任記念号  
 服部昌之教授略歴・著作目録  
 日本の1950年代における航空写真の経時的地域の特性に関する予察的研究 平野昌繁  
 空間的相互作用の動態モデリング 石川義孝
- 第46巻 第7分冊 (1994年12月)  
 最近のC I Sの人口動態 中村泰三  
 ブータンヒマラヤの有畜農業試論 一そのネパールとの比較から一 月原敏博
- 第47巻 第5分冊 (1995年12月)  
 中村泰三教授略歴・著作目録  
 戦前期ドイツにおける住宅政策の展開 一ルール工業都市群を事例として一 大場茂明  
 景観概念の生成と風景画および相貌学の発達 一フンボルトの景観論前史一 山野正彦
- 第48巻 第3分冊 (1996年12月)  
 3大都市圏の中心市内部における機能的変容 富田和暁  
 国際ツーリズム下におけるトルコ・アンタリア市の都市発展と都市政策 水内俊雄
- 第49巻 第2分冊 (1997年12月)  
 表層断面と起震断面からみた1995年兵庫県南部地震による変位場の特性に関する一考察 平野昌繁  
 マリ中央部、チオンゴニ村周辺の農法とその変化 一サヘル地域の農業近代化手法の再検討一 月原敏博
- 第49巻 別冊 (1997年12月)  
 阪神・淡路大震災特集号 (地理学教員執筆分)  
 I 基礎資料 平野昌繁  
 III 体験「阪神・淡路大震災」 5 神戸市東灘区 平野昌繁
- 第50巻 第2分冊 (1998年12月)  
 昭和初期から戦前期における都市開発と地城の変容 一和歌山市を事例にして一 水内俊雄  
 総合ドイツにおける住宅政策 一旧東ドイツ地域を中心として一 大場茂明